

令和5年度 第3回避難訓練（不審者対応）実施計画

1 ねらい

- (1) 不審者侵入時における安全な避難行動様式を身に付ける。
- (2) 通報や指示を落ち着いてしっかり聞く態度を養う。
- (3) 迅速で安全な集団行動がとれるようにする。

2 日時 令和6年 1月 18日(木) 業間 10:20~10:35

3 内容

時 刻	主な指導内容
朝の会 までに	<p>事前指導（各クラスでしっかり指導しておく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業間休みに避難訓練があることを予告しておく。【教育活動中における不審者の校内敷地内進入】 ・学校内で不審者に出会ったときの対応について話す。 不審者を見たら近くの先生に知らせる等 ・基本的に自分の教室に戻ることを確認する。 ・もし不審者来校があり、緊急性がある場合は校内放送があることを伝えておく。 ・訓練の重要性を児童に意識させる。 <p>※注意点 ①放送をよく聞く。②緊張感をもって担任（近辺職員）の指示に従う。③行動する。</p>
10:20	<p>【想定場面】</p> <p>子どもたちが校庭に出てから、不審者が現れる方が望ましいので、業間休みが5分過ぎた頃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不審物を持ったと思われる人物が校庭に現れたところを児童が発見し、近くの教員に知らせる。その後、教員が児童に伝令を指示し職員室へ通報。 ・児童に危害を加える恐れも考えられるため、緊急に児童安全確保のための対応が必要であると判断し避難行動を開始する。
10:21	<p>① 不審者の発見・初期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南門から校庭に侵入した不審者を児童が発見後、校庭にいた関教諭に連絡し、速やかに職員室へ通報（児童）。 ・児童から連絡を受けた小林先生は、管理職に連絡。 ・副校長が現場に駆け付け、不審者を刺激しないように声掛けをすると同時に校庭にいた関教諭は不審者から児童を遠ざけ、昇降口のさすまたを持って初期対応を行う。
10:23	<p>児童</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校庭にいた児童は、外靴のまま教室に戻る。（昇降口の雑巾を踏んで砂を落とす） ・昇降口から入るとは限らず、近くの入り口ならばどこからでもよい。 （来賓玄関・連絡通路なども使用できることを、児童に紹介しておく。） ・階段は、6年は東階段、1・2・5年は中央階段、3・4年は西階段を使用するのが望ましい。 <p>【校内一斉放送】（教務主任） 「訓練放送です。訓練放送です。校庭に荷物が届きました。児童のみなさんは、自分の教室へ戻りましょう。」（2回放送）</p> <p>担任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下・トイレ等に児童がいないことを確認し、教室を施錠する。（カーテンをやる。） ・遅れて入室の児童がいた場合はすぐに開けて入ることができるようにしておく。 ・校舎侵入も想定し、児童を窓際に移動させ、教室の出入り口を内側から施錠した上で机などでいつでもバリケードを作れるようにしておく。
10:27	<p>② 二次対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性職員（荒井・楠）は、さすまたを持って現場に急行する。（児童昇降口前） ・副校長は、状況を把握できる場所で職員室への連絡を随時行う。（携帯電話） ・事務職員は、職員室にて警察、教育委員会への電話連絡を行う。（今回は連絡なし。） ・教務主任は、現場からの連絡対応等に当たる。 ・副校長は、不審者が取り押さえられたことを職員室へ知らせる。（副校長→校長へ） <p>【校内放送】（教務主任）</p>
10:30	<p>「不審者は確保されましたので各クラスにいる先生は児童の安全を確認し職員室へ連絡してください。」</p> <p>③人数確認（各学年）（教室の人数把握）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の安全を確認し、担任及び担任代行は学年主任に連絡し、学年主任は職員室に連絡する。（担任→学年主任→職員室へ）

10:33	【校内放送】 （教務主任） 「安全が確認されましたので児童の皆さんは担任の先生の指示に従って休み時間にしてください。」 ※3時間目に入ってしまうので、学級の実態に応じて休み時間を設ける。
終了後	3. 事後指導 ・学級に応じて振り返りをする。

4 役割分担

- ・低学年担任・女性担任・ジャンプ学級担任・かがやき学級担当・日本語指導教諭は、基本的に児童と行動を共にする。
 - ・男性職員は、不審者のところにさすまたをもって駆け付け、対応する。
- ※ 安全確保のため、1階校舎の施錠をする。
- 1階連絡通路西（阿久津由）
昇降口（阿久津由・高橋）
保健室出入口・1階連絡通路東（安保）、
校長室前非常口・職員玄関（小林）
体育館通路・来賓玄関（横山）
- 【各担当者】**
- 校庭 初期対応・・・・・・・・・・関
1・2・3年生は各担任
3-2・・・金子（楠先生が二次対応に出してしまうため）
4-1・・・石井 4-2 ・・・三浦
5-1・・・田村 5-2 ・・・松倉
6-1・・・牛久 6-2 ・・・吉本
ジャンプ①② ・・・高橋・阿久津由
かがやきルーム・・・・・・・・阿久津朋
日本語学級 ・・・・・・・・阿久津朋
不審者役 ・・・・・・・・阿久津慎 ※ビブス着用
不審者二次対応・・・・・・・・荒井・楠
- ・校長：全体指揮
 - ・副校長：初期対応，二次対応
 - ・教務主任 ：校内放送，全体指揮補佐
（・櫻井先生：外部部署への連絡）
 - ・小林先生 ：関教諭から伝令を頼まれた児童からの通報を受け，管理職に伝達する。

5 留意事項

- ・明らかに刃物等の危険物を持っているなどの場合は，すぐ不審者との判断ができるが，すぐ判別できない場合があるので初期対応として穏便に対応する。
- ・教職員は常時さすまたの位置を確認しておき，緊急時に備える。（対応教職員は近くのさすまたを持参する。）
- ・校内放送の内容について，学年に応じて事前に指導をする。
「〇〇に荷物が届きました。児童の皆さんは自分の教室に戻りましょう。」
「〇〇」が，不審者がいる場所なので，正しく聞くこと。
- ・第一報と同時に，男性教諭は不審者対応へ，それ以外の担任等は各教室の児童安全対応に当たる。
- ・不審者が逃げた場合は，一人では追い掛けない。
- ・昇降口や保健室横など，校庭から校舎に入る入口の辺りには，雑巾を濡らして広げておき，児童は雑巾の上で，砂などを落として校舎内に入るよう指示しておく。

6 相談事項（昨年の実施からの反省）

- ・校庭から校舎内に入るときは，どの入り口でもよいが，その後自分の教室に行くよりは，近くの教室に入ってもよいとするのはどうか。（例中央階段を上っているのなら，1-1や2-2の方が近く逃げ込みやすいのではないか。その後，受け入れた担任から本当の担任へ「ここにいますよ。」などの連絡をすればどうか。→1・2年の担任の負担が大きいのと思われる。放送に従い，自教室へ行く。
- ・初期対応の副校長が駆けつけるときに，さすまたを持っていた方がよいかどうか。→職員室の物を使用